

あらかわ

# 社協だより

No.245

令和3年2月15日



ひらりちゃん  
荒川社協キャラクター

区内の地域福祉情報はこちらから▶荒川社協ホームページ <http://www.arakawa-shakyō.or.jp/> E-mail [info@arakawa-shakyō.or.jp](mailto:info@arakawa-shakyō.or.jp)  
発行:社会福祉法人 荒川区社会福祉協議会 〒116-0003 東京都荒川区南千住1-13-20 TEL 03-3802-2794(代) FAX 03-3802-3831

ホームページ フェイスブック

今号の注目記事 P1 えがおのチカラ・荒川社協会長あいさつ P2 東日本大震災支援活動 P3 施設紹介(地域交流) P4 社協からのお知らせ

## えがおのチカラ

いままでも、これからも「あらかわ社協」は、  
みんなとともに「えがお」をつくりたい。



写真:子育て交流サロン「ilona(イローナ)おやこの縁側」ご利用者のみなさん

### コロナ禍における地域福祉活動



荒川区社会福祉協議会  
会長  
笠島伸介

「一緒にのりこえましょう! 今は我慢して、今できることを楽しみましょう!」皆それぞれに大変な時期ですが、嬉しいこと、楽しいことに目を向けて、一緒に頑張りましょう!

これは、お子さんとおもちゃ図書館を利用して、今できる若いお母さんやお父さんから、特別養護老人ホームに入所されているお年寄りの皆さんへのメッセージです。星形やハート型のカードにエールを書いて貼り、お子さんたちとお母さんやお父さんの写真を添えたポスターを、区内の特別養護老人ホームにお届けするという、「まめまめボランティア」の取り組みです。

コロナ禍で、ご家族との面会もできず寂しい思いをしていたお年寄りたちからは、「コロナの中でささやかな喜びになった」「ポスターを見て会話ができた」「赤ちゃんの写真がかわいいね」などの声がありました。

新型コロナウイルスの急激な感染拡大により、社会福祉協議会のさまざまな活動も大きな制約を受け、多くのイベントの中止に加え、ふれあい粋活サロンもほとんどが活動停止せざるを得なくなりました。

しかしながら人と人との接触が大きな制約を受けている今こそ、人と人とのつながりの大切さが再認識されています。

荒川区社会福祉協議会では、ひとり暮らしのお年寄りや学生、ひとり親世帯などさまざまな方の孤立化を防ぐため、インターネットや手紙、電話、家庭でできるボランティアやパントリー事業など、さまざまな方法を模索しながら、これからも地域福祉活動に取り組んでまいります。

コロナ禍を共に乗り越えていくため、皆様のお力添えをよりしくお願い申し上げます。





# 東日本大震災(平成23年3月11日)から10年。

荒川社協では震災後まもなく、友好交流都市である釜石市へ物資を送る支援活動を行いました。翌年には「釜石市民元気応援プロジェクト」により、釜石市民の文化活動、子ども達の地域活動・スポーツ活動の支援などに取り組みました。平成24年6月、荒川社協と釜石社協では「災害時相互応援協定」を結びました。その後も釜石市、荒川区のボランティアがお互いの地を訪問し交流するなど、釜石とのつながりは続いています。また、震災により、福島県などから区内に避難されてきた方々を対象とした戸別訪問やサロン活動、各種イベントへのご招待の調整などを行ってきました。

今号では、区内避難者の集い「ふるさとサロン」と、釜石市にお届けしてきた「毛糸の帽子」の紹介をします。

## ふるさとサロン -区内避難者の10年-

毎月第3金曜日に開催している区内避難者の「ふるさとサロン」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため一時中止になりました。その間、避難者の方々とつながりは、担当職員による戸別訪問、電話・メールでの連絡、情報提供・お知らせなどの資料送付のみでした。しかし「早く皆に会いたいね」というお声も多く、感染状況もやや落ち着きが見られた事もあり、昨年10月30日(金)に今年度初めてのふるさとサロンを「ミニコンサート」として開催しました。総勢32人、久しぶりの再会!!

飛沫感染防止のため、距離を保つ会話でしたが、お互い同じ空間、同じ時間にゆっくりと演奏を楽しまれた心あたたまるひとときとなりました。

避難生活も10年近くとなり「避難者」というより地域の高齢者のご相談をお聴きしているよう、とも担当職員は語ります。これからも避難されてきた方々のお声に耳を傾け、想いに寄り添っていく事が大切です。



被災地支援でチャリティーコンサートを開く「グリーンパークトリオ」(三浦鯉登さん、桜木弘子さん、浅の芳明さん)によるミニコンサート



大きな輪になってソーシャルディスタンスを確保

※荒川社協が把握する避難者はピーク時には46世帯約120人。現在は区外への転居者、ふるさとへ帰郷者、入院・入所される方、そして亡くなる方なども増え17世帯38人となっています(2020年10月末現在)。

## ダンボの会 -毛糸の帽子づくり-

東日本大震災発災直後から、荒川区ではたくさんのボランティア団体が支援に取り組みました。その1つに「傾聴ボランティアグループダンボの会」の活動があります。ダンボの会は、主に荒川区の高齢者を対象にご自宅に訪問してお話を聴く、傾聴活動を2002年から続けているボランティアグループです。

東日本大震災発災直後、被災地に行って傾聴活動をするのは難しいですが、自分たちでも何かできることはないだろうかという話から、寒さが訪れる時にお届けできるようにと、「毛糸の帽子づくり」を6月頃から始めました。

10月には、釜石へのボランティアバスに参加し、帽子を95枚、マフラー 14枚を届けました。翌年からは、釜石で被災地支援活動を行っている大学生たちに帽子を託してお届けしています。

今年度も変わらず毛糸の帽子を作成し、大学生の皆さんにお届けいただく予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響で訪問することができず、今年度は郵送で、釜石市の社会福祉協議会に110個の毛糸の帽子をお届けしました。



帽子を受け取った釜石市からお礼のお手紙が届きました。

9年間続けてきた毛糸の帽子をお送りする活動は合計1,566個の帽子をお送りしています。東日本大震災から10年。あの日を忘れることなく、釜石市とのつながりは絶えることなく続いています。

ごんには、私は22才です。79才の夫と二人暮らしです。今日は、比呂さんの心のこもった帽子をいただきました。本音にありかどういさいます。私の住む所は市街地まで約20K、山の中ですが、海までは遠いので津波の直接被害はありませんでした。かえり、子、親類が海に近づく所に住む人が多く、その経験をした方が多勢います。我が家でも義理の姉、弟、弟が流され、義理の妹がなくなりました。もういざ10年を迎えますが釜石市の町の復興はたいぶ進みました。心の復興にはまだまだ時間がかかります。釜石にも傾聴ボランティアがある事は公報で知っています。バスを乗り越して行かなければならぬので、利用できません。しかし有難い事に、百才件棟、軽運動、歌等、社協の担当者さんが来てお世話を下さるので心強いです。今日は(8月)100才件棟後、思いがけず社協の百才さんら皆さん手作りの帽子をいただきました。皆さん、ご帰郷なさいます。さうさうかぶって帰る人もいました。私は家族帰ってかぶり鏡を見て、にっこりしました。これからこの地は雪が降り、道路も凍るので散歩もたいへんになります。又、コロナの影響で件棟も中止となったら家にこもる人も多くなっています。なんとか、お冬を乗り越えたいものです。橋野は山の中ですが近頃製鉄所の地として、世界遺産登録を目途に迎えた橋野鉄鉱山跡地があります。お手に取られるような時にはぜひ、お立ち寄り下さい。

追伸  
私の住む所から又山に入ったところに義理の姉が住んでいます。比呂さんからの帽子を今朝の自席に着けました。私はいただいた帽子をかぶって行きます。

皆さんの住む大都会には、私とは異なる向題とかかえる方もいる事でしょう。ダンボの会しか悩みをかかえる人の大きな力となります。よう、祈ります。

ダンボの会へ同様



## コロナに負けずに地域交流 (荒川生活実習所、荒川福祉作業所、尾久生活実習所)

### 三河島菜畑を目指して、「園庭農園」はじめました。

荒川生活実習所・荒川福祉作業所では、『地域の方とふれ合いたい!』『つながりたい!』との利用者の皆さんの思いを実現させようと、今年度は園庭の農園を地域の方々に開放する取り組みを始めました。

園庭農園では、栽培が難しい幻の野菜と言われる地場野菜の『三河島菜』の栽培を目標に、今年度は生育が似ている『小松菜』『春菊』『ラディッシュ』などを植え、土の状態や日当たりの様子を観察してきました。

コロナ禍のため、地域の方々と利用者と一緒に作業を行うことはできませんでしたが、水まきや野菜の周りに生えた雑草を取るなどの作業、生育の様子を観察するなどの野菜作りを通じて、距離を置いての交流を図ることができました。

今後は、園庭農園で地域の方々と利用者が作業を通して交流することができる“コミュニティの場所”となれたらと思います。



問合せ 荒川生活実習所 TEL.03-3891-6915 / 荒川福祉作業所 TEL.03-3807-3442

### “おさんぽどおり”を明るく楽しく

荒川区立尾久生活実習所「あらかわ希望の家」の窓をアート作品で彩どり、あかるく・楽しい“地域のおさんぽみち”にしていこうと制作に取り組んでいます。これまでもご近所の飲食店に絵画作品を展示して頂いており、みなさんからの「見たよ」の一言に励まされ・嬉しくなり・次の物作りや作品作りに気合が入ります。

うちの前にみんなの作品を貼ってもいいよ! という方がいましたらぜひご連絡ください。

「ゆいの森あらかわ」にも施設の利用者さんの作品展示コーナーができました。どんな風にみんなが作品を作っていくのか、紹介するパネルも作成中です!



写真:ウィンドウアート



### ちょっとした工夫で、地域交流の「場」を作る

近所の保育園児がお散歩の途中で保育士さんたちと飾りつけを楽しめるように、「街なかクリスマスツリー」を分場の施設前に設置したところ、近くの公園に遊びにくる親子へも輪が広がり、色々なオーナメントで、どんどんツリーが賑やかに♪ 設置した施設の利用者も職員も大喜びでした!

施設の中で交流することはできないけれど、「立ち寄ってくれる」「見てくれる」ことが力になる...そんな「みるみるボランティア」はいかがでしょう。次は「おひなさま企画」を実施します。自由に飾れる・作れる・ひなまつりを目指して、今年はみんなで、ひな段に「おひなさま・おだいりさま」を作っていきたいと思っています。

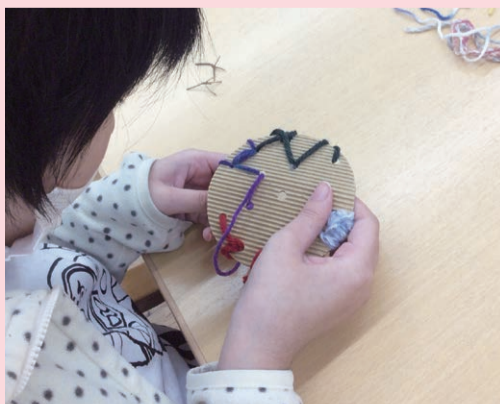
アートを「みるみるボランティア」大歓迎!!

みんなの作品を展示してくれる方を募集しています!!

うちの前に貼ってもいいよ!という方、ご連絡ください。



▲みんなで何をしようか話し合い



▲作品を作ります



▲よろしくお願いします

問合せ 尾久生活実習所「あらかわ希望の家」本所 TEL.03-3894-2263 / 分場 TEL.03-5901-3207



# ボランティア・フェストVOL.12

荒川のボランティア・アーカイブ



## 「あらんてあの人 100人」冊子 発行

読む

あらんてあで平成24年からスタートした、区内で活躍するボランティアをご紹介します。「あらんてあの人」が令和2年8月に100人になりました。このコラムには、ボランティアの思いや、メッセージが詰まっています。これから始める方など多くの方に読んでいただきたいと思います。



A5判 164ページ

★「あらんてあの人 100人」3月上旬発行予定。ご希望の方は、荒川ボランティアセンター、あらかわ地域活動サロンふらっと・フラットで配布。（※無くなりしだい、終了）

## 「あらんてあの人 100人」インタビュー 配信

観る  
聴く

あらんてあの人 100人へインタビュー映像をまとめ配信します。※3月中に配信予定 詳細は、あらんてあ3月号をご覧ください！

お問合せ先：荒川ボランティアセンター TEL03-3802-3338

## 歳末たすけあい・地域福祉募金へのご協力ありがとうございました。募金総額10,043,419円

コロナ禍で経済的にも精神的にも苦しい時期にもかかわらず、多くの区民の皆様より「歳末たすけあい・地域福祉募金」が寄せられました。

荒川区内町会・自治会を通して募金をしてくださった皆様、企業や団体、個人でご協力してくださった皆様、区内各所に設置した募金箱から募金をしてくださった皆様、本当にありがとうございました。

募金は全て荒川区内の福祉活動で活用させていただきます。

### 例えば

#### ● ひとり暮らし高齢者、在宅障がい児の方々へギフト券を配付(見守り活動)

年末に民生委員・児童委員の皆様にご協力をいただき、ひとり暮らし高齢者1,717名、在宅障がい児265名の方々の自宅郵便受けにギフト券を投函させていただきました。

#### ● 小・中・高校生と高齢者の年賀状交流

心の交流を目的に、75歳以上の高齢者みまもりネットワーク事業登録者4,603名に年賀状をお送りしました。「お飾りの絵がとても上手に書けていて、思わず笑顔になりました」など、心温まるお礼状や電話をたくさんいただきました。



高齢者からのお礼状



児童・生徒が作成した年賀状

## 善意の寄付者一覧

今回、お預かりしましたご寄付には「コロナの影響で困っている母子家庭を応援したい」「高齢者福祉に役立ててほしい」などの想いが込められています。

### 善意の寄付者

[令和2年10月27日～令和3年1月14日] (敬称略)

日付	寄付者名	金額(単位:円)
10月29日	上田俊子	20,000
11月 5日	三浦陵太	1,000
11月25日	ふらっと・フラット折り紙教室	2,000
12月 4日	荒川区更生保護女性会	20,000
12月 4日	ふらっと・フラット折り紙教室	2,000
12月 9日	西峯行雄	20,000
12月14日	菅原眼科クリニック	100,000

日付	寄付者名	金額(単位:円)
12月16日	中村義子	10,000
12月18日	有限会社ビーブル介護サービス	100,000
12月23日	匿名	100,000
12月25日	天王太鼓つくも会	10,000
12月25日	株式会社東工務店	100,000
12月25日	上田俊子	20,000
1月 8日	ふらっと・フラット折り紙教室	1,400

### たんぼほ募金箱設置店

[令和2年10月27日～令和3年1月14日] (敬称略)

日付	寄付者名	金額(単位:円)
10月29日	北珍	14,324
11月26日	西宮酒店	1,007
12月 2日	清水和子の店お客様一同	15,659
12月 3日	南進堂書店	1,796
12月24日	ほくし専門プライド・エイト	14,338
12月25日	春風	12,231

### 指定寄付(被災地支援金)

[令和2年10月27日～令和3年1月14日] (敬称略)

日付	寄付者名	金額(単位:円)
11月30日	NPO法人エコ生活ひろめ隊	4,750

### 物品寄付者

[令和2年10月26日～令和3年1月14日] (敬称略)

日付	寄付者名	寄付物品
10月26日	関東照明器具協同組合理事長 有賀雅雄	照明付ボールペン
10月28日	匿名	おむつ
10月29日	匿名	シルバーカー
10月30日	藤原忠行	シルバーカー
12月 3日	長谷川玲子	おむつ
12月 7日	上原文子	飲料等
12月16日	株式会社トーダ	カレンダー
1月 7日	上田俊子	区内共通お買物券・お菓子

社協活動へのご理解とご協力ありがとうございます。